

令和 7 年 3 月

計 量 管 理

NO. 204

一般社団法人新潟県計量協会
計 量 管 理 部 会

目 次

1	部会理事会の開催について	1
2	令和7年度計量管理部会事業アンケート集計表	3
3	令和7年度事業予定表	4
4	協会理事会開催される	5
5	第19回「指定定期検査機関の日」開催される	6
6	計量技術講習会開催される	8
7	所在場所基準器検査について	9
8	計量士等研修会開催のお知らせ	10
9	会員の広場	11
10	はかりの検査について	12
11	第14回定時総会の開催日時決まる	13
12	新潟県からのお知らせ	14
13	人事異動について	17
14	DVDの貸出について	18
15	関東甲信越計量団体連絡協議会新潟大会 2025 開催について	19
16	会員名簿の変更・退会会員について	20
17	訃報・事務局から	21

部会理事会の開催について

2月13日（木）午後2時より三条地域振興局「第1会議室」において部会長、部会理事並びに令和7年度から就任される新部会長、新部会理事から出席していただき、現理事と新理事の引継ぎを兼ねた部会理事会が開催されました。



【部会理事会】

概況は次の通りです。

議 事

1 令和6年度部会事業の実施概況（中間）について

事務局から配布資料に基づいて令和6年4月から令和7年1月までの部会事業の実施状況について説明が行われた。出席者から、「会員からのアンケートの回答数が会員数に対して13社ととても低い。会員の協会への関心度の低さを感じて残念である。」との発言があり、事務局からアンケートの取り方について、今後検討する、旨の説明がなされた。又、「家庭用はかりの無料検査を我々会員のスーパー等の店頭で行ってはどうか？」等の、今後の協会事業の運営について活発な意見が出された後、令和6年度部会事業の実施概況（中間）について承認された。

2 令和7年度事業計画及び予算（案）について

次の事業について、従来通り実施することで承認された。

- （1）計量管理強調月間事業
- （2）所在場所基準器検査幹旋事業
- （3）計量技術講習会
- （4）機関誌（計量管理）の発行
- （5）計量に係る関係文献・資料等及び計量計測機器メーカーの資料その他収集
- （6）計量関係功労者表彰事業
- （7）部会活動推進事業

3 令和6年度計量関係功労表彰者の推薦について

株式会社田中衡機工業所の増井秀樹氏を計量管理部会として推薦することで承認された。

4 役員の改選及び専門委員会について

事務局から役員の改選及び専門委員会について、次のような説明がなされた。
「部会理事の任期は2年となり、部会長、理事ともあらかじめ定められた順番に従って選任する。

次期部会長は、株式会社新潟三越伊勢丹の井田博樹様からお務めいただく。部会長は協会副会長に、副部会長及び理事は、協会理事に就任いただくことになり、本日の理事会で次期部会理事の中から副部会長2名を選出していただきたい。選考方法については第1ブロックから第3ブロックで1名、第4ブロックから第6ブロックで1名選出していただく。専門委員会については、総務、事業、研修、情報の4委員会があり、計量管理部会長は、研修委員会委員長に充てられるほか、総務委員会委員を務めていただき、その他の部会理事はいずれかの委員会に所属していただくことになる。」

以上のような説明が行われ、協議した結果、下記「計量管理部会役員名簿（案）」のとおり選出され、出席した理事から承認された。

計量管理部会役員名簿（案）

部会役職	氏 名	所 属 ブロック	協 会 役 職	専 門 委 員 会	委 員 会 役 職
部 会 長	井 田 博 樹	第 2	副会長	研修委員会 総務委員会	委員長 委 員
理 事	木 戸 克 明	第 1	理 事	情報委員会	委 員
副部会長	田 島 和 也	第 2	理 事	研修委員会	委 員
理 事	若 槻 隆 夫	第 3	理 事	総務委員会	委 員
理 事	黒 坂 篤 志	第 4	理 事	研修委員会	委 員
理 事	新 保 由 香	第 5	理 事	研修委員会	委 員
副部会長	田 中 利 美	第 6	理 事	事業委員会	委 員

協会の役員については、第14回定時総会の席上で正式に決定されることになり任期は令和7年5月の第14回定時総会から令和9年5月の第16回定時総会までとなる。

5 役員提案議題について

事前に提案されている事項はなく、理事の中からも提案された事項はなかった。

その他について

事務局から、「今後の会議開催予定として3月26日（水）計量協会理事会。5月27日（火）第14回定期総会並びに協会理事会が総会前に開催される為、現理事の方から出席していただく。総会の議事の中で役員改選が行われ、臨時理事会がその中で開催される。その臨時理事会には、新しい理事の方から出席してもらうことになる。」旨、今後の予定について説明が行われた。

続いて、関東甲信越計量団体連絡協議会新潟大会2025の開催要領に基づいて、新潟県が当番で開催される説明がされた。次に管理部会運営要領等について、「要領の内容が現状と違っていることから、今後、見直しをする必要がある。」との説明がなされた。「具体的には、ブロックの編成、地区研究会の有り方等について、今後、開催する部会理事会で検討させていただきたい。」旨の説明がなされた。

令和7年度計量管理部会事業アンケート集計表

【機関誌の発行について】

・発行時期・回数について

- (1) 従来どおりで良い

・掲載内容について

- (1) 現状通りで良いと思いますが、事業内容報告の後に事業参加者や関係者の一言を入れる等の工夫があったら良いと思います。

事務局の投稿や会員の広場は何時も楽しみにしております。

- (2) 現状の企画で大変良いです。内容も見やすく、楽しみにしております。

計量に興味を持ってもらえ、教育で使えるような記事を取り入れて、計量業界の底辺を広げ盛り上げていくのは如何でしょうか。

9月は計量のひろばがあるので、3月号に載せるのが宜しいと思います。

- (3) No.199号よりカラー版になり、写真が増えてとても読みやすくなりました。

No.203号の内容は特に、計量協会「ものづくり体験教室2024」の記事や、所在場所基準器検査について、定期検査研修会開催される記事が、充実していて良かったです。

毎号ご苦勞されて記事を集め、編集されている皆様、ありがとうございます。

【計量管理強調月間事業について】

・ポスター・標語の募集方法について

- (1) ポスター・標語の配布時期を早くしてほしい。（配布時期は9月末を希望。）

- (2) 弊社内で参加を募っているのですが常連の人以外に応募してもらえないのが悩みの種です。

今年の計量管理強調月間のポスターは、ユーモラスであり、大変素晴らしいものでした。

この作品の作者のおられる信越化学工業では、社員の方へいかに勧めていらっしゃるのか関心をもちました。

・ポスター・標語の印刷方法について

- (1) 従来どおりで良い

・DVD等の貸し出し等について

- (1) WEBでビデオを視聴できるようにしてほしい。

- (2) 今後とも継続して頂きたいと思います。

- (3) 新しいDVDを導入し内容の充実をお願いします。

【計量技術講習会について】

・テーマについて

- (1) 計量制度の動向について（ホッパースケール）

- (2) 近年、携わっておりますが、会員の皆様との考えと離れていないか気になります。

- (3) 今年は午前～午後にかけて長めの時間なのでありがたいです。来年も同様の時間続けていただきたいです。

- (4) 基本的には事務局に一任しますが、適正計量管理主任者の実務に役立つ内容を希望します。

(5) 「自動はかりを中心に計量の最新動向について～加えて計量に携わる方々への期待～」

講師株式会社イシダ滋賀事業所 田尻祥子氏 のご演壇は時宜を得た大変現在進行形の内容で計量管理であって、計量器管理ではない等示唆に富む貴重なコメントも頂きまして、とても有意義なものでした。

- ・講師について (1) 従来どおりで良い
- ・開催場所について (1) 中越地区 (2) 長岡市 (3) 上越市
- ・開催時期について (1) 11 月頃

【その他について】

- ・部会運営等に対する意見等について
 - (1) 引き続き、運営をよろしくお願いいたします。
 - (2) 退会、担当者変更が多いので、発行周期の見直しの検討が必要かと思います。
 - (3) いつも協会の運営で大変お世話になり感謝しております。今後もよろしくお願いいたします。

令和 7 年度 事業予定表

時 期	会 務
4 月	・ 会計監査（計量協会） ・ 会費請求（計量協会） ・ 所在場所基準器検査（圧力基準器・質量基準器） ・ 計量士研修会（計量士部会事業）
5 月	・ 理事会（計量協会） ・ 一般社団法人第 14 回定時総会（5 月 27 日）
6 月	・ 計量管理強調月間用ポスター・標語の募集
8 月	・ 部会理事会（被表彰者の選考並びにポスター・標語の審査）
9 月	・ 機関誌（計量管理）NO. 205 号の発行
10 月	・ 計量管理強調月間事業用ポスター・標語の配布 ・ 関東甲信越計量団体連絡協議会 新潟大会 2025（23 日～24 日）
11 月	・ 計量管理強調月間（1 日～30 日） ・ 計量技術講習会 ・ 令和 8 年度所在場所基準器検査受検案内通知 ・ 令和 8 年度部会事業に対するアンケート依頼 ・ 計量管理推進功労者等の表彰推薦依頼
12 月	・ 会報（新計会報）発行（計量協会）
2 月	・ 部会理事会（令和 8 年度事業計画）
3 月	・ 指定定期検査機関の日 ・ 理事会（計量協会） ・ 機関誌（計量管理）NO. 206 号の発行

協会理事会開催される

一般社団法人新潟県計量協会の理事会が3月26日（水）午後1時30分より三条市横町2丁目「餞心亭・おゝ乃」において、23名の出席を得て開催されました。

なお、当日は下記の議題について審議がなされ、いずれも異議なく承認されました。

議 事

- 第1号議案 令和6年度事業の実施状況について
- 第2号議案 令和6年度決算見込みについて
- 第3号議案 令和7年度事業計画の承認について
- 第4号議案 令和7年度予算案について
- 第5号議案 令和6年度計量関係功労者の表彰等について
- 第6号議案 役員の改選について
- 第7号議案 第14回総会の開催について
- 第8号議案 新規入会者の承認について
- 第9号議案 関東甲信越計量団体連絡協議会新潟大会 2025の開催について
- 第10号議案 役員提案議題について
- 第11号議案 その他



【 協会理事会 】

第 19 回「指定定期検査機関の日」 開 催 さ れ る

第 19 回「指定定期検査機関の日」が、3 月 6 日（木）午後 1 時 30 分より、三条市横町 2 丁目「銭心亭・おゝ乃」において、協会役員並びに計量士部会会員、定期検査・代検査に従事した計量士、検査補助員、受付補助員の 25 名の出席で開催されました。

『使命感こそ 未来への鍵』『正しい計量 合格証は お店の信用』のほか『いつも新鮮 合言葉は「使命感」』の垂れ幕を掲げ開会されました。

はじめに大平会長より挨拶【別記掲載】がなされ、議長に副会長で「指定定期検査機関の日」実行委員長の五十嵐一人氏が選出され、議題の審議に入り、事務局の早川技師から「令和 6 年度計量器定期検査実施報告」ならびに「令和 7 年度計量器定期検査実施予定」について配布資料に基づいて説明が行われ、定期検査の様子を載せた写真資料について説明が行われました。続いて、事務局の金井検査課長から定期検査の流れの説明として、定期検査に関する事前打ち合わせや、その後の事務処理の流れについて、図式の資料に基づいて説明が行われました。次に、定期検査の感想として事前にアンケートを書いてもらった中で、3 名の計量士から意見・感想などを述べてもらい、参加した計量士からは活発な意見交換が行われました。

《第 19 回指定定期検査機関の日》

【議 事】

- 1 令和 6 年度計量器定期検査実施報告
- 2 令和 7 年度計量器定期検査実施予定

【意見交換】

- ・ 定期検査の流れ・感想



【第 19 回指定定期検査機関の日】



【指定定期検査機関推進宣言】

参加者全員で「指定定期検査機関推進宣言」を唱和した後、大平会長から閉会の挨拶が述べられ、全日程を終了しました。

【別記掲載】

〔会長挨拶〕

第19回「指定定期検査機関の日」の開催に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

今年の開催も昨年と同様に寒の戻りで肌寒い天候となりました。足元の悪いなか定期検査に従事頂いております計量士の皆様はじめ検査のお手伝いをお願いしています皆様、そして計量協会の理事の皆様、顧問の金井様と多くの皆様にご参加いただき誠にありがとうございます。

さて19回目を迎える「指定定期検査機関の日」ですが、今回の開催内容は令和6年度実施の検査報告及び令和7年度検査予定の他に「定期検査の流れの説明」と題して実際の検査の流れについて金井課長から説明していただく予定です。指定定期検査機関として活動がはじまってから19年が経過し、検査に携わる計量士の皆様も年とともに交代されております。もう一度初心に戻り定期検査の流れについて確認することも大切ではないかとの考えから今回の内容となりました。このことは1月下旬に開催されました実行委員会におきまして検討された内容となっております。

先月2月28日に第23回全国計量士大会が東京で開催され3名の計量士の方から意見発表がありました。その中で九州計量士会の神田様の発表「計量士は一人じゃない～なぜいま、広域的活動なのか～」が印象に残りました。「福岡県から沖縄県までの計量士の有志が広域的に活動を行っていこうと九州計量士会を立ち上げて活動していること」「この活動により自分が知らなかった情報を知り得て自身の成長に繋がったこと」などを発表されていました。

本日開催の「指定定期検査機関の日」も同じような側面を持っているのではないかと思います。

本日の会がご参加いただきました皆様にとりまして有意義なひとときとなりますことをご期待し、開会の挨拶と致します。

計量技術講習会開催される

適正計量管理主任者等、計量管理業務に従事する者の計量制度、計量管理の手法などに関する知識と技術を高めることにより適正な計量管理を推進するとともに、計量制度の改正等に関する最新の情報の周知を図ることを目的とした「計量技術講習会」が、令和6年11月13日（水）午前10時から「（公財）燕三条地場産業振興センター メッセピア5F 総合研究室」で開催され、49名の方が受講されました。

講習内容は、次の通りです。

【講習①】

テーマ

「適正計量管理事業所における計量関係法令等」

講 師

一般社団法人新潟県計量協会 専務理事 西 片 一 喜

【講習②】

テーマ

「自動はかりを中心に計量の最新動向について～加えて計量に携わる方々への期待」

講 師

株式会社インダ滋賀事業所品質保証部 技術専門職 田 尻 祥 子 氏



【計量技術講習会】

所在場所基準器検査について

令和7年度の所在場所基準器検査の日程が決まりました。関係する事業所には既にご案内をしてあります。

検査に支障のないようにご協力宜しくお願いいたします。

検査日 令和7年4月21日～24日（4日間）

検査官 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
計量標準総合センター NMJJ/AIST
工学計測標準研究部門 計量器試験技術グループ
池上 裕雄 氏

受検事業所

- ・ (株)アヅマテクノス
- ・ 日本フローサーブ(株)柏崎工場
- ・ 日鉄工材(株)
- ・ 三菱ガス化学(株)新潟工場
- ・ 大平洋特殊鑄造(株)直江津製造所
- ・ 日本製鉄(株)東日本製鉄所直江津地区
- ・ 明星セメント(株)糸魚川工場

検査台数 重錘型 13台 液柱型 1台 天びん 2台

【注意】

例年、お願いしておりますが、所在場所基準器検査の申請をする場合の添付書類として、新潟県が受付した旨の受付印が押印された「計量法関係の年度報告」が必要になります。

来年度に基準器検査を受検される事業所におかれましては、今年提出される令和6年度の年度報告書の準備をお願いいたします。

なお、県へ提出される場合、2部提出し一部は県へ提出用、一部は事業所用（返信用封筒・切手を同封する）として下さい。

計量士等研修会開催のお知らせ

毎年、定期検査従事者、適正計量管理事業所の計量士（計量士部会加入計量士）に定期検査・計量器検査等を適正に実施していくためには、計量士の知識及び技術を高めていくことが不可欠であります。

こうした観点から、はかりの検査方法に関する講義に加えて、実機講習や計量士相互の情報交換の場を設定した総合的な研修会を開催しております。

令和7年度は、下記内容で開催いたします。

概況は次のとおりです。

- 開催日時 令和7年4月25日（金）午前10時00分から午後2時30分
- 会場 三条地域振興局 第一会議室 他
- 研修内容
 - ・ はかりの検査・操作方法について
 - ・ 定期検査における確認事項
 - ・ 検査における問題点等
 - ・ 計量器の実機研修
 - ・ アンケート内容について
 - ・ パネルディスカッション



【過去の計量器実機研修の様子】

～～～～～～～～計量士部会への入会について～～～～～～～～

※ 適正計量管理事業所で計量士として活躍されてる方で、計量士部会に加入されていない方については、是非計量士部会に加入していただき、「計量士等研修会」などに参加いただき、適正な計量器検査、知識と技術力を高めていただきたいと思います。

～～

★★★会員の広場★★★

明星セメント(株)糸魚川工場

1.はじめに

当社が立地する新潟県糸魚川市は、中部山岳・妙高戸隠連山国立公園の2つの国立公園に囲まれ、日本で初めてユネスコの世界ジオパーク（大地の公園）に認定された大変風光明媚な街です。

フォッサマグナ、糸魚川静岡構造線に代表される日本列島形成の貴重な地質や素晴らしい景観が数多く、日本随一の翡翠(ヒスイ)の産地でもあります。また、2015年3月には北陸新幹線の開通により首都圏や金沢などからの交通の便も向上しました。

当社は1958年5月15日に設立し、高品質で豊富な石灰石鉱床を背後に持ち、この「ジオの恵み」を原料として省エネルギーに優れた製造設備で各種セメントを製造しています。また、物流拠点となる姫川港を利用して、セメント、石灰石製品を太平洋セメントブランドで国内はもとより、韓国、中国、台湾、東南アジアに向けて輸出拡大を進めています。

操業当初より鉱山と工場を結んでいる長距離ベルトコンベア（全長約6,000m）の更新工事を今年の3月に完成し、今後もセメントのみならず鉄鋼向けを始めとした石灰石の拡販に力を入れ、数少ない日本海側のセメント供給拠点としてその責任を果たしてまいります。



以上

はかりの検査について

取引・証明に使用している「はかり」は2年毎に定期検査を受けなければなりません。

新潟県、新潟市、長岡市、上越市について当協会が「指定定期検査機関」として指定を受けて県並びに市に代わって検査を実施します。

令和7年度の検査日程（予定）については下記のとおりです

【新潟県】

5月7日	弥彦村
5月8日～5月13日（土日曜を除く）	見附市
5月14日～5月29日（土日曜を除く及び27日を除く）	燕市
5月30日～6月2日（土日曜を除く）	田上町
6月3日～6月12日（土日曜を除く）	妙高市
6月16日～7月2日（土日曜を除く）	糸魚川市
7月4日～7月14日（土日曜を除く）	小千谷市
7月15日	刈羽村
7月16日～7月31日（土日曜・祝日を除く）	柏崎市
9月1日～9月19日 （土日曜・祝日及び9月10日、11日を除く）	十日町市
9月10日～9月11日	津南町
9月22日～9月24日	出雲崎町
9月29日～10月16日（土日曜・祝日を除く）	三条市

【新潟市】 ※令和7年3月25日に移転

〔担当課：新潟市消費生活センター 計量担当 TEL025-211-2390〕

移転先 〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目614-5 白山ビル8階

検査地域 ・中央区（信濃川以東）・東区・北区（旧豊栄支所管内免除のみを含む）
・江南区（旧亀田、横越支所管内除く）・西蒲区
・江南区（旧亀田、横越支所管内 R6 免除のみ）
・中央卸市場・卸センター・沼垂朝市場

検査日程 未 定

【長岡市】

〔担当課 長岡市商工部 産業支援課工業振興係 TEL0258-39-2222〕

検査地域 ・旧栃尾市、旧寺泊町、旧与板町、旧越路町、旧三島町、旧和島村
・旧小国町、旧中之島町

検査日程 6月3日～6月20日 14日間（土日を除く）

【上越市】

〔担当課 上越市産業部 産業政策課産業振興係

TEL025-520-5729 内線 2204 〕

検査地域 ・上越市全域

検査日程 7月1日～8月29日 31日間

（土日・祝日及び7月7日・22日～29日、8月12日～15日を除く）

第 14 回定時総会の開催日時決まる

去る 3 月 26 日に開催された第 2 回理事会で、一般社団法人新潟県計量協会の第 14 回定時総会の開催日時が、下記のとおり決定いたしました。

会員各位には、すでにご案内してありますので、多数のご出席をお願い致します。

1 開催日時 令和 7 年 5 月 27 日（火） 午後 1 時 3 0 分～（予定）

2 開催場所 餞心亭「おゝ乃」 TEL: 0 2 5 6 - 3 2 - 4 6 4 9
三条市横町 2 丁目 1 1 - 8

3 開催内容

（1）来 賓 新潟県産業労働部長、計量検定所長

（2）計量功労者表彰式

（3）議 事

【議案】

第 1 号議案 令和 6 年度会務事業報告

第 2 号議案 令和 6 年度収支計算書（案）の承認及び会計監査結果報告

第 3 号議案 理事の改選

第 4 号議案 会員提出議題

【報告事項】

報告事項 1 令和 7 年度事業計画及び収支予算案について

報告事項 2 関東甲信越計量団体連絡協議会新潟大会 2025 の開催について

※総会終了後、懇親会が開催されますので多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 令和 7 年 5 月 27 日（火）

午後 3 時 20 分～（予定）

場 所 餞心亭「おゝ乃」

負担金 1 0, 0 0 0 円

新潟県からのお知らせ

新潟県計量検定所

業 務 課

TEL 0256-36-2240

FAX 0256-36-2249

◎ 計量法関係の年度報告の提出について

計量法施行規則第96条の規定により、計量法に基づく登録・指定を受けている事業者又は届出を行っている事業者は、年度ごとに報告書を作成し、これを提出しなければなりません。

関係事業者には依頼文書を送付しますので、令和6年度の実績を4月末日までに計量検定所へ提出してください。

なお、提出先が計量検定所以外となる報告書もありますので、依頼文書に同封する記入要領をよく読んでから、報告書を作成・提出されますようお願いします。

◎ 令和6年度 商品量目立入検査について

計量検定所では、スーパーマーケットなどを対象として、食料品の表記量に対して内容量が適正かどうかを検査する、商品量目の立入検査を実施しています。

対象市町村は特定市（新潟市、長岡市、上越市）及び地方自治法による権限移譲を行った市村（三条市、刈羽村）を除いた県内の市町村です。

商品量目には「公差」が定められています。公差とは表記量と実際の内容量との許容誤差のことをいい、商品の種類により異なります。

なお、計量検定所では令和6年度は、8市町村で実施しました。

《参 考》

量目不足が発生する主な理由は次のとおりです。

- ・ はかりの操作ミス等により風袋が引かれていなかった。
- [風袋（ふうたい）とはトレイ、ラップ、吸水紙、わさび等（添え物）をいい、これらは内容量には含みません。]
- ・ トレイを変更した際に、はかりの風袋量の確認や設定変更を行わなかった。
- ・ 同一商品の場合、トレイのサイズ(重さ)にかかわらず、風袋量の設定が同じだった。
- ・ 自然乾燥の大きい野菜類等の再計量を行っていなかった。

◎ pH計及び騒音計等の巡回検定（検査）について

移動検定車による令和7年度pH計及び騒音計・振動レベル計等の巡回検定（検査）実施計画について、指定検定機関である一般財団法人日本品質保証機構（JQA）から

次のとおり通知がありました。

取引、証明上の計量に使用しているものであって検定等の有効期間を経過するものは、この機会に必ず受検してください。

1 検定（検査）予定期日：令和7年8月下旬（予定）

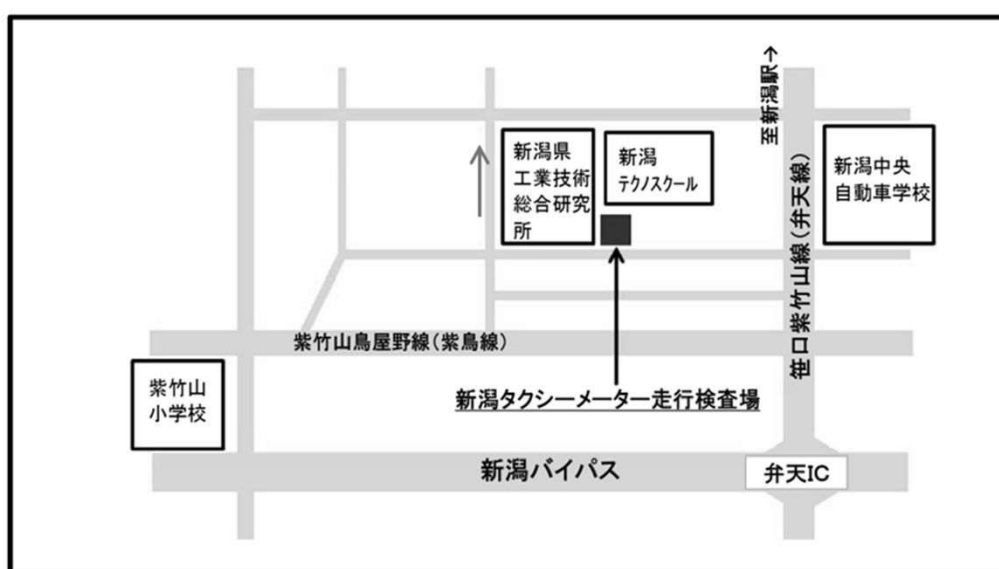
2 検定（検査）予定場所：三条市（計量検定所）

新潟市（新潟タクシーメーター走行検査場：下図参照）

3 検定（検査）対象機種：pH計、騒音計、振動レベル計等

4 連絡先：具体的な内容は一般財団法人日本品質保証機構（JQA）計量計測センサー計器検定課（TEL：042-679-0143）へお問い合わせください。

[新潟タクシーメーター走行検査場：新潟市中央区鏡西1丁目11番9号]



◎ 一般主任計量者試験の日程について

一般計量証明事業の登録を受けようとする事業所には、1人以上の一般計量士または一般主任計量者の配置が必要です。

新潟県では、一般主任計量者になるための講習及び試験を実施しています。

【令和7年度 講習及び試験の実施日時】

- | | | |
|-----|-----------|-----------------|
| 第1回 | 5月20日（火） | 午後1時30分～午後3時30分 |
| 第2回 | 8月19日（火） | 午後1時30分～午後3時30分 |
| 第3回 | 11月18日（火） | 午後1時30分～午後3時30分 |
| 第4回 | 2月17日（火） | 午後1時30分～午後3時30分 |

詳しい内容は、計量検定所のホームページに掲載しています。

「計量制度見直し」の動向

◎自動捕捉式はかりの使用の制限の開始

2年間延期されていた自動捕捉式はかりの使用の制限が令和6年4月1日から開始され、新たに取引・証明に使用するはかりは、**検定証印が付されたもの**でなければなりません。

令和6年3月31日までに取引・証明に使用していたはかり（既使用はかり）については、**使用の制限が令和9年4月1日に開始されます。**

これは、検定証印が付されていない既使用はかりは「**令和9年度からは取引・証明に使用できなくなる**」すなわち、令和7～8年度中に検定を受検する必要があるということです。

県内においても、既に多くの事業所から検定を受けた報告をいただいておりますが、既使用はかりの検定をまだ受検されていない事業所も多くあると思われます。

また、自動捕捉式はかりを使用している（取引・証明用か否かを問わない）適正計量管理事業所においては、**令和9年3月31日までに「指定申請書記載事項変更届」（以下、適管変更届）を提出しなければなりません。**

適管変更届の提出前に自動捕捉式はかりの検定を受けることも可能ですが、その場合に付される検定証印有効期間は「6年」ではなく「2年」となります。

経済産業省計量行政室は、いわゆる「検定のヤマタニ問題」を可能な限り回避するため、**自動捕捉式はかりの令和7年度中の検定受検**の協力を呼び掛けています。

既使用はかりの検定をまだ受けていない事業所は、可能な限り令和7年度中に受検していただくようご協力をお願いします。

また、適正計量管理事業所は令和7年度中に適管変更届を提出し、検定を受けていただくようご協力をお願いします。

※自動はかりに関する適管事業所向けの資料は、計量行政室HPに掲載されています。

「計量制度の見直しに伴う適正計量管理事業所の留意事項」

https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/techno_infra/00_download/tekikan-ryuijiko202209r.pdf

※自動捕捉式はかりの検定に関する問い合わせは、下記指定検定機関へお願いします。

https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/techno_infra/00_download/shiteikenteikikan-kisa20241126.pdf

「器差検定を中心とした指定検定機関（自動捕捉式はかり）」一覧（抜粋） 令和6年11月現在

指定検定機関名 (事業所名)	指定の区分	特定計量器の種類	所在地	指定日 (更新日)
株式会社寺岡精工 株式会社デジアイズ (関東事業所)	自動捕捉式はかり	自動捕捉式はかり	東京都大田区久が原5-13-12	R3.3.31 (R6.3.8)
大和製衡株式会社 (関東甲信越事業所)	自動捕捉式はかり	自動捕捉式はかり	神奈川県横浜市都筑区佐江戸 町814番地	R3.10.18 (R6.10.18)
株式会社エー・アンド・ デイ (開発・技術センター)	自動捕捉式はかり	自動捕捉式はかり	埼玉県北本市朝日1-243	R3.10.18 (R6.10.18)
アンリツインフィビス 株式会社 (計量検定部検定管理課)	自動捕捉式はかり	自動捕捉式はかり	神奈川県厚木市恩名5-1-1	R4.9.30
全国自動はかり検定株式会 社 (東京本社)	自動捕捉式はかり	自動捕捉式はかり	東京都板橋区板橋1丁目52 番1号	R5.9.20
一般社団法人日本海事検定 協会 (検定サービスセンター)	自動捕捉式はかり	自動捕捉式はかり	神奈川県横浜市中区海岸通1- 3	R6.11.26

人事異動について

令和7年4月1日付けで、下記のとおり県計量検定所の人事異動がありました。

・ 転 出

新	氏 名	旧
柏崎地域振興局農業振興部 庶務課農用地係長	山田 勲	主査
農業総合研究所 食品研究 センター 主任	関田 真知子	主任

・ 転 入

新	氏 名	旧
所長	齋藤 昌幸	柏崎地域振興局健康福祉部 部長
主査	吉野 学	三条地域振興局地域整備部 用地・行政課 主査
主事	原 李碧	新採用

・ 退 職

所長 結城 格

D V D の貸出について

計量に関する DVD がありますので、是非活用してください。
希望がありましたら、借用書（下記様式）を事務局までお送り下さい。

- (1) 「あなたの分銅は正確ですか？～実用基準分銅の校正～」 約 35 分
内容：はかりの定期検査などに用いられる実用基準分銅の校正方法について解説したものです。
- (2) 「温度を正しく計るために～ガラス製温度計の検査～」 約 28 分
内容：ガラス製温度計の自主管理を行うとき検査方法を解説したものです。
- (3) 「ちょっとした注意で正しい計量～量目不足を防ぐために～」 約 25 分
内容：商品を計量販売する上での「正しい計量の知識」の一つ、商品の量目不足を未然に防ぐ「ちょっとした注意」を、再現映像を通してわかりやすく解説しています
- (4) 「長さを正しく計測するために」（ノギス・マイクロメーター） 約 41 分
内容：長さ測定器（ノギス・マイクロメーター）の取扱方法と自主管理における検査方法を分かりやすく解説したものです。
- (5) 「包装に見る計量・計測」 約 25 分
内容：食品業界の生産現場で行われている計量管理事例を紹介しながら包装量目商品における計量管理の重要性を解説したものです。

「注」 なお、希望日が重複した場合は事務局で調整させていただきます。
また、DVD ソフト借用書は当協会ホームページからダウンロードできます。

D V D 借用書		令和 年 月 日
(一社) 新潟県計量協会		
事務局	行	事業所名
		担当部課係
		担当者名
		電話番号
下記のとおり借用します。		
記		
1	D V D 名	
2	借用期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日

関東甲信越計量団体連絡協議会新潟大会 2025 開催について

各都県の輪番で開催されている「関東甲信越計量団体連絡協議会」が 2025 年度は新潟県の当番で開催されます。具体的な内容は昨年 7 月と今年 3 月に開催した正副会長会議で検討され、3 月 26 日の計量協会理事会の席上で正式な開催計画案が承認されました。後日、改めてご案内を致しますので、多数のご参加をお願い致します。

1 趣 旨

関東甲信越地区の計量協会及び計量士会・部会が日ごろ抱えている計量に関する諸問題について、意見協議と団体相互の親睦促進を図る。

2 開催期日 令和 7 年 10 月 23 日（木）～ 24 日（金）

3 会 場

新潟市「ANAクラウンプラザホテル新潟」

新潟市中央区万代 5 丁目 11 番 20 号 電話 0 2 5 - 2 4 5 - 3 3 3 3

4 参加者負担

2 5, 0 0 0 円

協議会・懇親会 1 3, 0 0 0 円 宿泊 1 2, 0 0 0 円

協議会のみ参加 3, 0 0 0 円 懇親会のみ 1 0, 0 0 0 円

※参加者には会から助成あり（協議会のみ 3,000 円、協議会・懇親会 6,000 円
協議会・懇親会・宿泊 10,000 円）

5 参加予定人数 1 7 0 名（来賓等を含む）

6 日 程

(1) 10 月 23 日（木）

12 : 30 ~ 13 : 20

受 付

13 : 30 ~ 13 : 40

開催要領説明

13 : 40 ~ 15 : 50

会 議

・開会の辞

・主催者あいさつ

・来賓祝辞

・来賓紹介

・提案議題審議

・次回開催県あいさつ

・閉会の辞

16 : 00 ~ 16 : 15

感謝状贈呈

16 : 30 ~ 17 : 30

記念講演

18 : 00 ~ 20 : 00

懇 親 会

(2) 10 月 24 日（金）

ア 研修見学会 参加費 4, 0 0 0 円

イ 親善ゴルフ 参加費 3, 0 0 0 円

会員名簿の変更・退会会員について

計量管理部会の会員名簿につきましては令和6年5月現在で作成し、皆様に配布いたしました。発行後に変更・退会会員・移転がありましたので下記のとおりお知らせいたします。

【変更】

第1ブロック

イオンリテール株式会社北陸信越カンパニー を 北関東・新潟カンパニー へ

担当部課係：人事総務部お客様サービスグループ を 人事総務部 へ

住 所：950-0911 新潟市中央区笹口 1-1 プラールカ 1 3F を
343-0845 埼玉県越谷市南越谷 1-2876-1 イオン南越谷店 3F へ

電 話 番 号：025-255-0092 を 048-961-2515 へ

【退会】

第6ブロック

（令和7年2月13日付）

名 称 新日本電工株式会社

住 所 妙高市大字田口 272 番地

【移転】

新潟市消費生活センター

移転後

住 所 〒951-8131

新潟県新潟市中央区白山浦 1 丁目 614-5 白山ビル 8 階

T E L 025-211-2390

F A X 025-211-2372

移転日 令和7年3月25日（火）

訃 報

小林 清作 様

令和 7 年 3 月 13 日享年 96 歳にて、ご逝去されました。

小林清作様におかれましては平成元年 3 月 41 年間の県職員の在籍を終わり同 7 月 新潟県計量協会専務理事兼事務局長として、平成 14 年 6 月までの 13 年間務めていただきました。平成 10 年計量関係 4 団体の大同団結が行われた時には事務局として、ご尽力をいただきました。

平成 14 年 6 月からは社団法人新潟県計量協会顧問として 18 年間にわたりご協力をいただき感謝申し上げます。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



令和 2 年 5 月
当協会退会挨拶をする小林様

事 務 局 か ら

編 集 後 記

今年の 1 月は穏やかな日が続きましたが、2 月に入り警報級大雪・強烈寒波 2 回の到来で会員の皆様も、道路の渋滞・交通機関の遅延、運休など大変な思いをされたことと思います。まだまだ、寒暖差が厳しい日が続きますが、会員の皆様には体調管理に気を付けていただきまして、新年度を迎えていただきたいと思います。

今年は「関東甲信越計量団体連絡協議会 新潟大会 2025」が開催されます。計量協会の事業としては、10 年に一度の大イベントとなりますので、会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

今年度も、会員の皆様と一緒に協会活動を飛躍させていきたいと思いますので、ご支援ご協力を宜しくお願い致します。

(事務局)



「はかり屋」魂をどこまでも

労働人口の減少が進む日本社会
様々な業界・現場で生産性の向上が求められています。
田中衡機工業所も、計量のトータルサービスで、
より効率的なものづくりに寄与していきます。

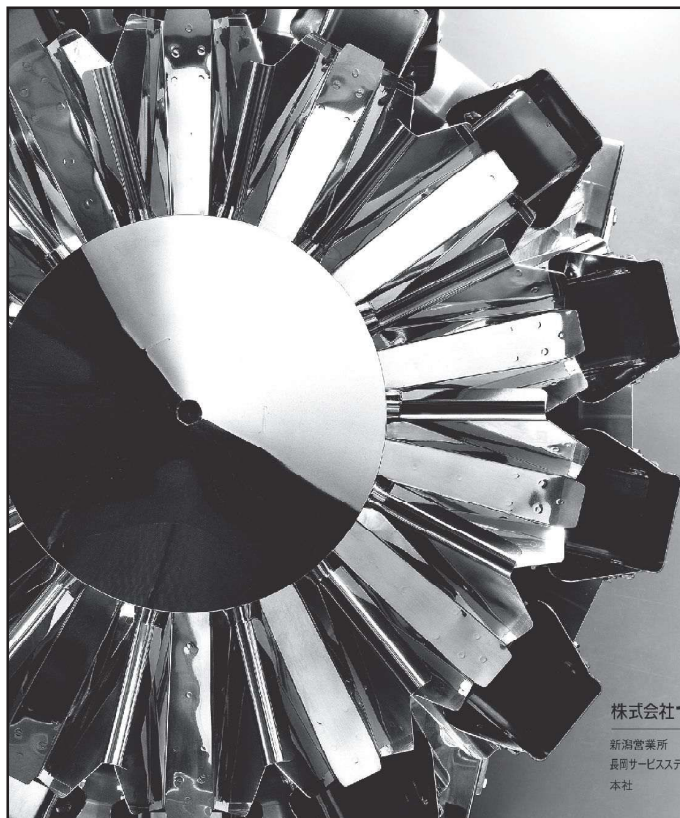
これからも日本のものづくりを
みなさんと一緒に支える企業であるために

株式会社 田中衡機工業所

新潟 / 東京 / 大阪 / 八戸 / 宮城 / 福岡 / ベトナム

URL <https://www.tanaka-scale.co.jp/>





私たちイシダグループは、
世界中のお客様の課題を
革新的に解決し、
安全・安心で豊かな社会の
創造に貢献します。

はかりしれない技術を、世界へ。



株式会社イシダ www.ishida.co.jp

新潟営業所 新潟県新潟市中央区紫竹1-14-16 〒950-0864 TEL.(025)241-0444(代)
長岡サービスステーション 新潟県長岡市大島本町3-1-57 〒940-2112 TEL.(0258)22-5025(代)
本社 京都府京都市左京区聖護院山王町44 〒606-8392 TEL.(075)771-4141(代)



食品工場・製造工場・物流業界様向け機器

あらゆる計量器をベースとした「システム機器」のエキスパート

お客様に最適なサポートが出来るよう、多彩なラインナップを取り揃えています。



株式会社 協立商会

新潟営業所 新潟市中央区鳥屋野345-16 ☎(025)282-3343
長岡営業所 長岡市宝地町浦田311-1 ☎(0258)21-0122
上越営業所 上越市春日新田5-7-29 ☎(025)544-5658
佐渡出張所 佐渡市両津夷3-1 ☎(0259)24-7019
本社 東京都世田谷区給田3-26-19 ☎(03)3326-2151

バリアフリー体重計

SMOOZER

Yamato



- ◆業界初！
表示部⇔載台ワイヤレス
- ◆見やすい大型表示
- ◆載台高さ25mmの超低床で
載せ降ろしが簡単
- ◆台車スケールとしても活躍
- ◆定価 210,000円～(税別)

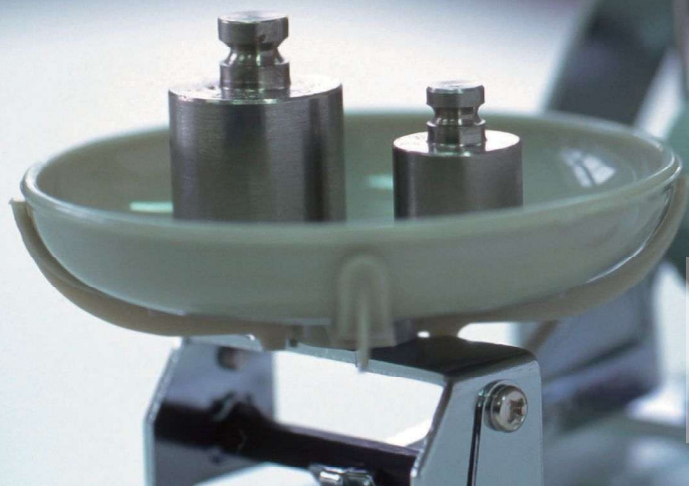
大和製衡株式会社 新潟県総代理店
いつも新鮮な呼吸をしています。

高森コーキ株式会社

本 社 / 〒955-8677 三条市南四日町4-8-18
TEL 0256-32-4041 FAX 0256-34-7502

正確なはかりで支える

<https://takahashi-hakariya.com>



金属検出機・X線検査機・包装機器
コンピュータースケール・各種計量器
各種基準器・試験機・校正書類発行

株式 高橋はかりや
会社

〒959-1374 新潟県加茂市矢立5-4

TEL / 0256-52-2121

FAX / 0256-52-7880

あなたの“はかりたい”に応えます

【業務内容】

- ◆計量器の製造、販売、メンテナンス
- ◆計量士代検査、一般検査
- ◆省力化機械の設計・製造、販売、改造、メンテナンス
- ◆各種プラント検査及び材料試験機の校正、メンテナンス
- ◆基準器検査受託（質量、温度、圧力、他）
- ◆JCSS校正（はかり）



JCSS
JCSS 0231

当社は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、
認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されている
JCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IA Japan)は、
アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び
国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。
当社(当法人、弊社等可)標準室(校正室、試験室等可)は、
国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です。
JCSS0231は、当標準室の認定番号です。

株式会社 新潟計量システム

本社／新潟市東区小町1丁目14番31号 025-273-1058
上越／上越市五智新町1番29号 025-531-0860
<https://niigataks.co.jp/>

